

令和7年度 地域連携推進会議

2026/3/28 (土)

(1) 地域推進会議の目的

- ・利用者と地域との関係づくり
- ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・サービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護
- ・会議の開催による構成員との情報共有・意見交換
- ・構成員の施設訪問による職員や利用者との関係づくり
- ・事業所の環境や事業運営の確認を行います。
- ・利用者にとって、より質の高い支援が受けられる効果があります。

(2) 出席者のご紹介

- ・N.M.様 (利用者)
- ・N.T.様 (利用者御家族)
- ・K.K.様 (自治会、同隣保の方)
- ・岸田みどり(管理者)
- ・岩田友希様 (サービス管理責任者)

(3) グループホームの取り組みの説明

① 障害者支援施設・共同生活援助の違いについて

共同生活援助（グループホーム）は障がいのある方が地域社会の中で、世話人などの支援を受けながら、数人の仲間と一軒家やマンションで共同生活を送る福祉サービスです。

- ・生活形態：共同生活援助は地域の住居での自立支援、障害者支援施設は入所型施設での包括的支援。
- ・対象者の重度度：共同生活援助は比較的軽度～中度の障害者向け、支援施設は重度障害者向け。
- ・支援内容：共同生活援助は日常生活のサポート中心、支援施設は24時間体制で生活全般を包括的に支援。
- ・目的：共同生活援助は地域社会での自立生活促進、支援施設は生活の安定と身体・生活能力の向上。

② レホナ加古川について

- ・対象者：精神障がい者・知的障がい者
- ・利用定員

レホナ加古川3名、レホナ加古川南備後7名、レホナ加古川野口I号館4名、レホナ加

古川野口Ⅱ号館4名、レホナ加古川野口Ⅲ号館4名、レホナ加古川野口Ⅳ号館5名、レホナ加古川別府Ⅰ号館5名、レホナ加古川別府Ⅱ号館12名、レホナ加古川別府Ⅲ号館4名、レホナ高砂4名、レホナ加古川宝殿4名、レホナ加古川尾上5名、レホナ加古川養田4名

・職員

管理者 1名（11時～20時）

サービス管理責任者 3名（11時～20時）

生活支援員 3名以上

世話人 21人以上（16時～21時、6時～8時）

夜間支援員 21人以上（21時～翌6時）

・特長

レホナは一般住宅を利用した小規模施設で自宅に住むイメージを大切にしています。

サービス管理責任者が「生活上の目標」や「将来の夢」をご本人と話し合い、お一人おひとりに“個別支援計画”というプランを立てます。その目標の実現に向けて、スタッフがともにサポートしていきます。

・食事提供

朝食、夕食を毎日手作りで、出来立ての温かいご飯を食べていただきます。

栄養士が毎月、献立とレシビをしっかりと管理しています。日祝には、利用者様のリクエストにお応えしたメニューが登場することもあります。ご利用者様と一緒に調理を行う事もあります。

・居室管理

全個室鍵付きでプライバシーを大切にしています。

部屋のお掃除はご自身で行ってまいります。月に一度は世話人がお手伝いします。

一人で過ごす時間の楽しみや学びの為にインターネットのWi-Fiを無料で利用できます。

・お仕事サポート

自分の力でお金を得ることは何よりの自信に。その第一歩を踏み出すお手伝いをします。就労先と連絡を取り合い、安心して通えるようにお手伝い致します。

・季節のイベント

お花見に花火、ハロウィンやクリスマス、毎月何かのイベントがあり、楽しまれています。

誕生日にはケーキで、皆さんと一緒に祝い致します。地域の祭りへの参加・見学も。

※別紙写真にて説明

（４）皆様からの感想・意見交換

・角岡様：グループホームと聞いて、老人の方が対象と聞いていました。今日、説明を聞いてそうだったのかと思った。いつも静かなので、住んでいる皆さんは本当に自立され

ているように感じました。

- ・ N.T.様：いつも娘のために対応してくださってありがとうございます。レホナさんに住むようになり日に日に娘が落ち着いてきていると実感しています。親子関係も良くなっています。感謝しかありません。
- ・ 岩田：地域の方、関係者の方々にサービス管理責任者としてレホナの支援について今後もしっかりお伝えさせていただきます。
- ・ 岸田：レホナでは自立に向け努力されている障害者の方をしっかりと支援していますのでご安心いただきたい。地域住民の方にも理解いただくよう活発に交流していきます。

以上

情報更新日：2026年3月31日